



令和5年6月16日
株式会社中国銀行

「脱炭素先行地域」の選定について

中国銀行（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 頭取 加藤 貞則）は、環境省が募集する「脱炭素先行地域」において、岡山県瀬戸内市（市長 武久 顕也）、みやまパワーHD株式会社（福岡県みやま市瀬高町小川18 代表取締役社長 白岩 紀人）、邑久町漁業協同組合（岡山県瀬戸内市邑久町虫明4256 組合長 松本 正樹）、株式会社岡山村田製作所（岡山県瀬戸内市邑久町福元77 代表取締役社長 佐々木 俊和）、備前日生信用金庫（岡山県備前市伊部1660番地の7 理事長 松本 洋一）と共同提案をおこない、このたび岡山県瀬戸内市が脱炭素先行地域に選定されましたのでお知らせいたします。

当行は、引続き、本取組みをはじめとして幅広い領域で地方創生やSDGsに貢献してまいります。

【事業内容】

1. 事業名
漁村農村から始める、地域で経済が循環する瀬戸内モデル
2. 脱炭素先行地域の対象
瀬戸内市の玉津地区及び裳掛地区、株式会社岡山村田製作所並びに当市内の全公共施設
3. 主なエネルギー需要家
住宅（戸建）912戸、民間業務施設32軒、公共施設278箇所、漁業関連施設5軒、農業関連施設2軒、岡山村田製作所施設1軒
4. 提案者
岡山県瀬戸内市、みやまパワーHD(株)、邑久町漁業協同組合、(株)岡山村田製作所、備前日生信用金庫、当行（共同提案）
5. 計画期間
2023年度（令和5年度）～2028年度（令和10年度）
6. 主な取組
 - ・各施設等への再生可能エネルギー設備の設置による自家消費の推進
 - ・設立予定の地域電力会社を通じたエネルギーマネジメントの実施・地域全体への供給
7. 中国銀行の役割
 - ・地域電力会社への出資ならびに融資の検討

【脱炭素先行地域とは】

2050年カーボンニュートラルに向けて民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費にともなうCO₂排出の実質ゼロを実現する地域で、地域脱炭素の取組を全国へと広げていく先行モデルとなります。地方自治体や地元企業・金融機関が連携し、環境省を中心とした国の積極的な支援のもと、地域特性に応じて脱炭素に向かう先行的な取組みの実行や地域課題の解決を目指します。

脱炭素先行地域は全国で100か所程度が選定される予定で、第3回目となる今回は共同提案を含め日本全国の67の地方公共団体から58件の応募があり、うち16件が選定されました。

本事業は、瀬戸内市における多様な施設等を対象とし、地域資源を生かした再生可能エネルギーの供給を予定した網羅的な提案であること、地域金融機関が共同提案者となっていることや民間企業との連携体制等が高く評価され、今回の脱炭素先行地域の選定につながりました。

【関連URL】

環境省ホームページ

「脱炭素先行地域選考結果（第3回）」について（令和5年4月28日）

https://www.env.go.jp/press/press_01538.html

<授賞式の模様>



以 上